



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 リバーエレテック株式会社
 コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 富士男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 大柴 公基
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0551 - 22 - 1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	3,159	5.6	558		557		570	
30年3月期第3四半期	3,345	6.6	238		261		266	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 615百万円 (%) 30年3月期第3四半期 245百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	77.41	
30年3月期第3四半期	36.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	6,905	1,066	15.4	144.67
30年3月期	7,782	1,681	21.6	228.17

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 1,066百万円 30年3月期 1,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,208	20.1	650		650		668		90.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,492,652 株	30年3月期	7,492,652 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	121,302 株	30年3月期	121,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	7,371,350 株	30年3月期3Q	7,371,350 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、スマートフォン向け音叉型水晶振動子の受注が前年を上回りましたが、通信系モジュール向け水晶振動子が新製品を中心に総じて低調に推移したことから、前年に比べ減収減益となりました。

売上高は前年同期比5.6%減の3,159,075千円となりました。利益面では、グループをあげて固定費削減などの全体最適化に努めたものの、厳しい価格競争による収益性の悪化を避けられず、営業損失は558,918千円（前年同期は238,770千円の営業損失）、経常損失は557,746千円（前年同期は261,490千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は570,651千円（前年同期は266,020千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(水晶製品事業)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日	前年同期比
売上高	3,305,418千円	3,072,721千円	△7.0%
セグメント損失(△)	△263,234千円	△545,943千円	—

水晶製品事業は、主にスマートフォンにおける通信系モジュール向け水晶振動子の販売数量が減少したことにより、売上高は3,072,721千円（前年同期比7.0%減）となりました。損益面につきましても原価低減に努めたものの、販売単価下落などの影響を補いきれず、セグメント損失は545,943千円（前年同期は263,234千円のセグメント損失）となりました。

(その他の電子部品事業)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日	前年同期比
売上高	39,794千円	86,354千円	117.0%
セグメント利益又は損失(△)	1,744千円	△11,802千円	—

その他の電子部品事業は、車載向け部品の受注が好調に推移して売上高は86,354千円（前年同期比117.0%増）となりましたが、この増収に伴う販売管理費が増加した影響などからセグメント損失は11,802千円（前年同期は1,744千円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の減少103,353千円、受取手形及び売掛金の減少44,711千円、商品及び製品の減少332,750千円、仕掛品の減少63,849千円、機械装置及び運搬具の減少150,403千円、建設仮勘定63,964千円の減少等により、前連結会計年度末から876,615千円減少し、6,905,612千円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金の減少184,863千円、短期借入金の増加71,759千円、設備関係支払手形55,414千円の減少等により、前連結会計年度末から261,122千円減少し、5,839,166千円となりました。純資産合計は、利益剰余金の減少570,651千円、為替換算調整勘定の減少31,398千円等により、前連結会計年度末から615,493千円減少し、1,066,446千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は7,131千円(前年同期は297,705千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失566,900千円、減価償却費301,803千円、売上債権の減少35,472千円、たな卸資産の減少360,083千円、仕入債務の減少189,058千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は87,216千円(前年同期は995,951千円の使用)となりました。これは主に定期預金の預入による支出528,769千円、定期預金の払戻による収入572,120千円、有形固定資産の取得による支出124,595千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は43,476千円(前年同期は896,431千円の獲得)となりました。これは主に短期借入金の増加額(純額)71,759千円、長期借入れによる収入788,145千円、長期借入金の返済による支出810,455千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日に公表しました平成31年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成31年2月12日)公表しました「通期業績予想および配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,586,280	1,482,927
受取手形及び売掛金	1,332,911	1,288,199
商品及び製品	488,883	156,132
仕掛品	441,049	377,199
原材料及び貯蔵品	497,140	528,487
その他	202,123	94,881
貸倒引当金	△20,941	△20,501
流動資産合計	4,527,447	3,907,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	365,613	356,914
機械装置及び運搬具(純額)	1,376,220	1,225,816
工具、器具及び備品(純額)	99,553	76,501
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	16,334	29,778
建設仮勘定	672,106	608,141
有形固定資産合計	2,945,256	2,712,582
無形固定資産		
ソフトウェア	1,514	1,138
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	10,980	10,604
投資その他の資産		
投資有価証券	117,405	103,324
繰延税金資産	288	252
その他	180,850	171,521
投資その他の資産合計	298,543	275,098
固定資産合計	3,254,781	2,998,286
資産合計	7,782,228	6,905,612

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586,141	401,277
短期借入金	1,193,219	1,264,978
1年内返済予定の長期借入金	1,021,270	1,075,628
未払法人税等	7,753	3,287
賞与引当金	37,530	24,935
設備関係支払手形	147,052	91,638
その他	256,463	202,818
流動負債合計	3,249,429	3,064,565
固定負債		
長期借入金	2,422,727	2,346,059
長期末払金	449	236
繰延税金負債	5,572	38
役員退職慰労引当金	138,260	136,800
退職給付に係る負債	269,815	269,136
その他	14,034	22,331
固定負債合計	2,850,858	2,774,601
負債合計	6,100,288	5,839,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	787,297	787,297
利益剰余金	△78,700	△649,352
自己株式	△17,891	△17,891
株主資本合計	1,761,225	1,190,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,851	△592
為替換算調整勘定	△92,137	△123,535
その他の包括利益累計額合計	△79,285	△124,127
純資産合計	1,681,939	1,066,446
負債純資産合計	7,782,228	6,905,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	3,345,212	3,159,075
売上原価	2,801,811	2,900,295
売上総利益	543,401	258,780
販売費及び一般管理費	782,172	817,698
営業損失(△)	△238,770	△558,918
営業外収益		
受取利息	2,386	3,373
受取配当金	2,089	2,081
為替差益	-	24,891
その他	3,143	4,671
営業外収益合計	7,620	35,018
営業外費用		
支払利息	22,521	30,065
社債利息	91	-
為替差損	5,467	-
その他	2,258	3,779
営業外費用合計	30,339	33,845
経常損失(△)	△261,490	△557,746
特別利益		
固定資産売却益	21	-
特別利益合計	21	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
退職特別加算金	-	9,154
特別損失合計	0	9,154
税金等調整前四半期純損失(△)	△261,468	△566,900
法人税、住民税及び事業税	5,864	3,720
法人税等調整額	△1,311	30
法人税等合計	4,552	3,750
四半期純損失(△)	△266,020	△570,651
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△266,020	△570,651

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△266,020	△570,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,864	△13,443
為替換算調整勘定	13,418	△31,398
その他の包括利益合計	20,282	△44,841
四半期包括利益	△245,738	△615,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△245,738	△615,493

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△261,468	△566,900
減価償却費	313,048	301,803
貸倒引当金の増減額(△は減少)	288	△423
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,191	△12,594
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,220	△1,460
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,267	△679
受取利息及び受取配当金	△4,476	△5,454
支払利息	22,613	30,065
為替差損益(△は益)	△16,114	9,179
有形固定資産売却損益(△は益)	△21	-
有形固定資産除却損	0	0
退職特別加算金	-	9,154
売上債権の増減額(△は増加)	342,520	35,472
たな卸資産の増減額(△は増加)	△198,047	360,083
仕入債務の増減額(△は減少)	78,096	△189,058
未収入金の増減額(△は増加)	743	865
未払金の増減額(△は減少)	△44	△5,989
その他	28,148	67,735
小計	319,582	31,800
利息及び配当金の受取額	4,484	5,456
利息の支払額	△20,591	△29,638
法人税等の支払額	△13,037	△8,253
法人税等の還付額	7,267	636
退職特別加算金の支払額	-	△7,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	297,705	△7,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△599,934	△528,769
定期預金の払戻による収入	581,333	572,120
有形固定資産の取得による支出	△973,692	△124,595
有形固定資産の売却による収入	1	-
投資有価証券の取得による支出	△4,833	△4,897
その他	1,174	△1,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△995,951	△87,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△123,651	71,759
長期借入れによる収入	1,650,000	788,145
長期借入金の返済による支出	△597,495	△810,455
長期未払金の返済による支出	△8,962	△395
社債の償還による支出	△20,000	-
リース債務の返済による支出	△3,459	△5,577
財務活動によるキャッシュ・フロー	896,431	43,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,726	△8,788
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	203,911	△59,660
現金及び現金同等物の期首残高	729,649	990,446
現金及び現金同等物の四半期末残高	933,561	930,786

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,305,418	39,794	3,345,212	3,345,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,305,418	39,794	3,345,212	3,345,212
セグメント利益又は損失(△)	△263,234	1,744	△261,490	△261,490

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△261,490
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△261,490

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,072,721	86,354	3,159,075	3,159,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,072,721	86,354	3,159,075	3,159,075
セグメント損失(△)	△545,943	△11,802	△557,746	△557,746

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△557,746
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△557,746

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. その他

役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・退任取締役（平成30年12月31日付）

常務取締役 三枝康孝

・役職変動（平成31年1月1日付）

専務取締役 萩原義久（前常務取締役）